

ジュニア賞

# 騙せ！ ペテン・ネット

高成田 渚 (中学3年生：東京都)

## 〈背景〉

数多くのウェブサイトの中には、消費者を騙して金銭を手に入れようとする詐欺サイトも少なからずあります。通報件数は年々増えており、警視庁も注意喚起をしています。私たちは騙されないように、詐欺サイトを見抜かなければなりません。そこで提案するのは、詐欺サイトを作って他人の個人情報・金銭を手に入れるシミュレーションゲームです。騙す側の心理になってみることで詐欺サイトの特徴を知り、見分ける力を鍛えます。

## 〈内容〉

- このゲームはコンピューターでプレイします。
- プレイヤーは詐欺サイトの作り手として、初めに指令書をもらいます。指令書にはターゲット層・手に入れたいもの（金銭・個人情報）・資金が書かれており、それに基づいてサイトを作る必要があります。
- サイトの種類を決めます。女性から金銭を手に入れたい場合は有名ブランドのサイトを模倣する、などターゲットや目的に合ったサイトを作ることで、アクセスする人数が増えます。
- 行動回数と資金ゲージが出現します。プレイヤーは資金を使用することで、サイトに様々な要素を付け加えることができます。危機感を煽る警告音で消費者に冷静な判断能力を奪わせたり、サイトのアドレスを本家に寄せたり、プレイヤーはどうしたら人を騙せるか考えてサイトを作っていきます。また資金を減らして行動回数を増やす助っ人機能では、安い代わりにサイトの日本語がおかしくなる外国人か日本人どちらかを雇うことができます。行動回数、資金のどちらかがゼロになった時点で終了です。
- 結果が出ます。サイトのアクセス数・騙せた人数・指令書通りかの三項目で評価され、次の指令の難易度・行動回数・資金が変化します。難易度が上がるにつれより巧妙なサイトを作ることを求められ、指令の内容も変わるので、様々な種類の詐欺サイトを知ることができます。